

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園
下田中学校便り第4号
令和2年7月29日発行



文責 校長 小林貴英

あるテレビ番組でこんなことを言っている人がいました。

「人が生物として生きるには、空気、水、食料が必要です。ただ、持続的に、そして社会的に生きていくにはそれだけでは不十分なんです。誰かと一緒に楽しい時間を過ごしたり、協力して何かをやり遂げたりすること。美しい音楽を聞いたり、心が揺れ動くような芸術作品を見たりするといった“心の充足感”が必要なんです。」

部活動を通して、充実した人生を歩んでいる下中生を紹介します。

運動部の市内交流戦が行われました。入学以来取り組んできたスポーツの区切りとしての舞台。例年とは異なる形で最後の舞台に立った選手達。今回私は、全ての競技において下中生の躍動する姿を見ることができました。必死にボールを追う姿。追い込まれたときに見せる真剣な表情。勝利の瞬間に跳び上がってしまう感情の爆発。悔しさがにじむ口元。やり切った満足そうな笑顔。どれもこれまで精一杯頑張ってきたからこそその姿です。

顧問やコーチから毎日いただいた無数の言葉が心に蓄積されてきたことと思います。自分の思いを毎日ノートに綴ってきた人たちもいます。これら日々の小さな成長を積み重ね、当日素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた下中生を誇らしく思います。

吹奏楽部の校内コンサートがある日の昼休みに開催されました。演奏を聴きたいと食堂に集まった生徒は全校のほぼ全員でした。普段見ることのできない仲間の演奏する姿を食い入るように見つめていました。吹奏楽部員の保護者の方々からも大勢足を運んでいただき、大盛況のコンサートでした。



体育館ステージには、文化活動部が作成した今年度の生徒会スローガンが掲げられています。味のある文字、きれいな色づかいの大きな作品は、全校生徒の心を癒してくれています。

下田中学校から交通事故被害者、加害者は出しません
～ 生徒も 教職員も 保護者の皆様も ～

横断歩道を渡る



保護者の皆様へ再度のお願いです。登下校時、保護者の方の自家用車で生徒を送迎する場合は、下田体育館の駐車場を利用してください。

次の4か所での乗降は、登下校する生徒、及び通行する車にとって危険ですのでおやめください。

- ①校地内(生徒玄関前、食堂前等)
- ②テニスコート前の三角コーナー
- ③道路上

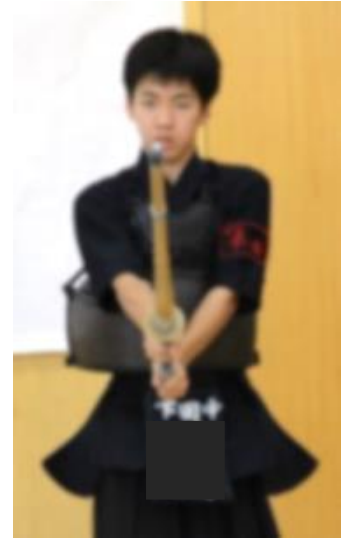
下田中学校から絶対に交通事故を出さないために、全校生徒、保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

車道には出ない



車道(道路左側)に人がいると、車は接触を避けるために右(センターライン)に寄ります。左の写真の道路では道幅が狭いため、センターラインを越えてしまいます。すると、見通しの悪い反対車線から来る車との正面衝突の危険性が高まります。横断歩道もあり、ここは危険度の高い場所であるということをお覚悟しておきましょう。

この歩道は自転車も通行が可能です。
ただし、歩行者がいる場合は、自転車を降りて歩きます。
歩行者、自転車ともに車道には一切出ないことを徹底します。





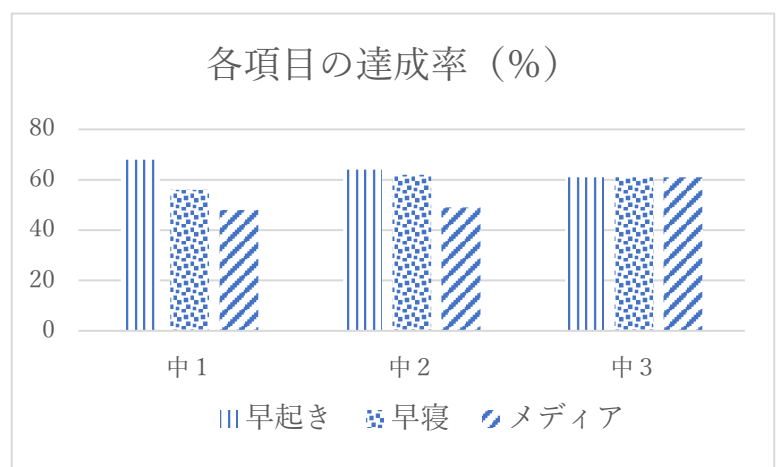
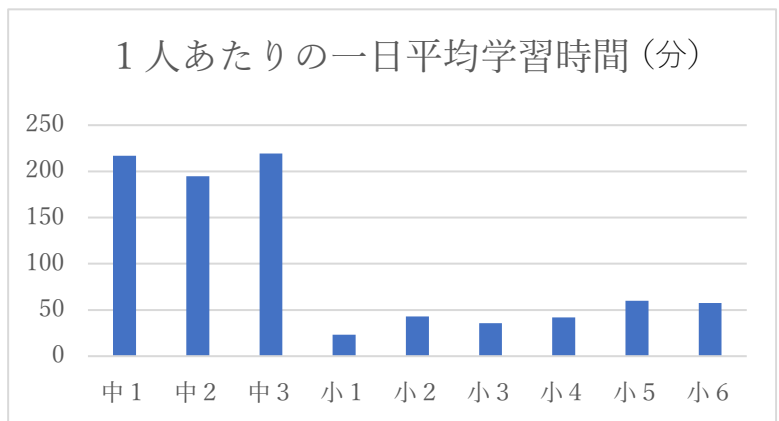
しただの郷学園 第1回いきいきパワーアップ習慣 (6月12日～18日)

中学校の定期考査の時期に合わせて、しただの郷学園の小中学生が、日頃の自分の生活を振り返り、規則正しい生活を送ることを目標に取り組みました。

具体的には、生活習慣（早寝、早起き、朝ごはん）とメディア時間のコントロール、学習時間の確保です。

上のグラフから、考査に向けて頑張る中学生の姿がよく分かります。一方、達成率を示す下のグラフを見ると、早起きと早寝、メディアコントロールが予定通りいかなかったことが分かります。

十分な学習時間と睡眠時間、メディア時間は影響し合っています。望ましい生活習慣をどのように作り出していくかを考えなければなりません。



どんな工夫ができるか、各家庭で考えてみてください。